

燃料タンク気化防錆剤 CHITANION チタニオン

主な用途

自動車ガソリンタンク、灯油ストーブの燃料タンク、灯油用屋外タンク、土木建設用産業機械の燃料タンク、農耕機等の燃料タンク等の各種燃料タンクの内部防錆



特性と効果

チタニオンの大きな独自性は、単に液に浸される部分の防錆だけでなく、水面上の空間部分を気化防錆させる、燃料タンク用気化防錆剤です。

特長は、酸素や湿度のある環境において、金属の腐食作用を確実に防止することのできる、より化学的な防錆剤です。

- ① 常温で徐々に燃料タンク内で気化して、飽和し、金属表面に目に見えない薄い保護皮膜を形成して防錆効果を発揮します。
- ② チタニオンは、各種タンク（ガソリン、灯油、潤滑油）に対して、すばらしい防錆効果を発揮します。
- ③ チタニオンの気化性は、タンク内の燃料パイプ、その他の小さな孔、細かい部分、表面形状の非常に複雑な部分等に対し、防錆効果が得られます。
- ④ 水分中又は金属表面に付着している水滴にチタニオンの有効成分が溶け込んで湿度の高い気相部分でも、防錆効果を発揮します。
- ⑤ チタニオンの配合内容は120mlのコングであり、1本での有効なタンク容量は50～60ℓです。1年以上の防錆効果が得られます。
- ⑥ ガソリン、灯油等の残存量が少ない程、より大きな防錆効果が期待できます。
- ⑦ 流し込みよりもスプレーで使用すれば、即効性と面に直接吹き付けるため効果的です。

使用上の諸注意

- ① 燃料タンク 50～60ℓに対してチタニオン 1本（120ml）の割合で注入して下さい。小型タンク、4～5ℓカートリッジタイプのような灯油タンクにもご使用いただけます。
- ② 入れすぎても燃焼効果に影響することはありません。
- ③ 使用中は勿論、使用されないときも、タンクのキャップは密閉状態にして下さい。もし開放状態にしておきますと防錆効果の持続時間が短くなります。
- ④ 密閉性の悪いタンクや空気との接触の高いタンクの場合は、年に2～3回の注入が有効です。
- ⑤ チタニオンはキャップを開けたまま放置しますと気化性溶剤ですので有効成分が消失し、使用不可能となりますのでご注意ください。

【チタニオンの効果（例）】

【左】1%塩水（200mL）

【右】1%塩水（200mL）に

チタニオン10%を注入

※ 1年経過→

チタニオンなしの【左】は、金属が腐食され、塩水ともに茶色く変色、プラスチックボトルの変形も見られます。



取扱代理店



自動車用化学製品製造

日本ウイック株式会社

JAPAN UICKS CO., LTD.

<http://www.uicks.co.jp>